

実践的な職業訓練サービスを提供

ここでは、発達障がいのある人に向けた訓練・支援が充実している就労移行支援事業所の具体例を紹介します。どんな訓練プログラムがあるのでしようか。

社会人として必要なスキルからていねいに訓練していく

就労移行支援事業所によって支援の特色は様々ですが、ここでは、発達障がいのある人に向けた支援の整った事業所の事例を見てみましょう。

「ホープ神田」（東京都千代田区）では、個々の利用者の特性に合わせ、段階的な訓練を実施しています。例えば

「自分の気持ちを伝えられない」など、その人の抱えている問題をすべて洗い出し、職業訓練以前の生活スキルであっても、できることから一つひとつ訓練していきます。

そのためにも利用時の面接では、き

め細かく聞きとりを行い、就労に向けた支援計画書を作成し、目標を立て、3ヵ月ごとに見直します。

発達障がいのある人を意識したプログラムも充実

就労支援プログラムには、発達障がいのある人を意識したメニューがあり、例えば「ソーシャルスキルトレーニング（SST）」では、様々なシーンを想定したロールプレイングの中で、人の気持ちや感情を理解して、どんな言い方や言い回しが適切なのかを理解して、身につけていきます。「コミュニケーション活動」では、仲間とのゲームを通して、チームワーク形成や人と

の距離感、関わり方を身につけて、自己認識や創造性を育成します。

他に、ビジネスマナーや電話対応、

パソコンスキルなど、実務訓練のプログラムの中にも、発達障がいのある人が苦手とする部分をフォローするような指導方法をきめ細かくとり入れています。

こうした訓練を経て就労後は、半年間で仕事を定着することを目指し、定期的に面談をしたり、半年を過ぎても必要に応じて企業と連絡をとりながら、個々に必要な支援を続けます。

こうした取り組みをしている事業所はまだ少ないですが、事業所を選ぶときの目安にするとよいでしょう。

就労移行支援事業所で受けられる訓練

（ホープ神田の場合）

ビジネスマナー



日常生活や仕事に必要なビジネスマナーの訓練。発音・発声・挨拶の仕方、身だしなみ、仕事の受け方、報告・連絡・相談の仕方、周囲への気配り、敬語の使い方など、基礎から応用までワークショップ（参加型）形式で、実践的に障がい特性に応じて実施。

ソーシャルスキルトレーニング



社会生活に必要なスキルを身につけるためのプログラム。聞き上手になるためのスキル、上手に頼みごとをするスキル、妥当ではない依頼を拒否するスキルなど、人の気持ちや感情を理解しながら、ロールプレイングで身についていく。

電話対応



ビジネス会話の基本を身につけ、電話に慣れる訓練を行う。基本的な言葉遣いを中心に、様々な状況に応じた電話対応の訓練を実施。

コミュニケーション活動

様々な動きや身体を使ったゲームなどを通し、相手との距離感や関わり方を学びながら、自己認識、創造性を育成。

就労移行支援事業所の選び方

就労移行支援事業所の中には、比較的障がいの軽い人ばかりを集めて、短期間で就労させたがるところや、単にパソコンのスキルや事務作業のスキルだけを教えるだけで、障がい特性に合わせた訓練をあまり実施していないところもあります。検討するときは、ハローワークや障害者就業・生活支援センターなどで、どこが自分に合っているのか相談し、行きたい事業所が決まったなら、見学時の面談でよく話を聞き、体験通所をして、納得してから決めるといいでしょう。

リサーチ・発表

毎月テーマを決めて、そのテーマに沿ってインターネットで検索したり、その他の方法で調べたりしながら、プレゼンテーションの資料を作成し、発表する。作成した資料を発表することで、表現のスキルや自信を高める。